

令和8年3月 勝浦市議会定例会一般質問順序表【令和8年3月4日(水)】

順序	通告時間	質問者	質問事項	質問要旨
1	60分	渡辺 ヒロ子	1. 市長の任期満了を控えた市政運営の総括と次期市政への展望について	本年8月27日で任期満了を迎えるにあたり、次期市長選挙への出馬についての、現時点での考えについて伺う。
2	40分	久我 恵子	1. 防災井戸の設置調査について	(1)各地区における防災井戸の調査、協力依頼の進捗状況について伺う。 (2)災害時協力井戸登録制度の導入についての市の考えについて伺う。
			2. 災害時の情報伝達について	(1)防災情報のバリアフリー化のために「ユニボイス ブラインド」の導入が必要と考えるが、市の考えについて伺う。
3	60分	佐藤 啓史	1. 市の広報・プロモーションについて	(1)市の広報・プロモーションの現状について ア. 市の広報プロモーションは、どの部署がどのような役割分担で行っているのか伺う。 イ. 子育て支援施策や移住施策について、市外への情報発信は十分に行われていると認識しているのか伺う。
				(2) 広報・プロモーションにおける課題について ア. 避暑地、カツオ、タンタンメン、朝市など、本市の強みがテレビ、新聞、ラジオ、SNSなどのメディアで発信されている現状をどのように認識しているのか伺う。 イ. 広報・プロモーションの効果や検証は行われているのか伺う。
				(3) 今後の広報・プロモーションの方向性について ア. 部署ごとではなく、市として一本化した広報・プロモーション体制を構築する考えはあるか、伺う。 イ. 子育て支援施策や避暑地としての優位性を生かした本市の強みを、移住・定住促進につなげていくための広報・プロモーションを強化する考えはあるか、伺う。 ウ. 今後はWebやSNSなどのデジタル媒体を活用した広報とプロモーション戦略を策定する必要があると考えるが、市の見解を伺う。
			2. 包括連携協定について	(1) 勝浦市が他の自治体、民間企業、各種団体と結んでいる「包括連携協定」の件数と内容について伺う。 (2)勝浦市が結んでいる包括連携協定によってこれまでに展開されている事業とその成果について伺う。 (3) 包括連携協定における課題はあるか。また今後展開していきたい包括連携協定はあるか、伺う。
			1. 令和7年度当初予算における主な事業の実績状況及び本市における明るい兆し事業について	(1) 農林水産業の振興として、農林業の分野では、名木木戸地区・大森地区・大楠地区の県営ほ場整備の状況について伺う。
				(2)水産業の分野では、漁業の担い手を確保するために実施する漁業担い手支援事業の継続状況、漁業協同組合経営支援事業による勝浦漁業協同組合及び新勝浦市漁業協同組合の経営安定化の事業内容について伺う。
				(3)観光事業では、フィルムコミッションを活用した積極的な観光情報の発信の状況、朝市活性化事業の状況について伺う。
				(4)移住促進のための滞在用空き家住宅を借り上げ、移住体験の実施状況について伺う。
				(5)暮らしの安全確保とともに、市民の利便性の向上に向けた事業の実施状況について伺う。
				(6)利便性の高い公共交通の形成状況について伺う。

順序	通告時間	質問者	質問事項	質問要旨
4	60分	長田 悟		(7)プレミアム付商品券実施状況について伺う。
				(8)勝浦中学校の体育館にバリアフリートイレの設置状況について伺う。
				(9)人口減少、少子高齢化といった本市の課題に対し、これといった打開策などが見えない状況であるが、令和7年度予算は、各事業の着実な推進の予算であったことから、市長が考える各分野における明るい兆しについて伺う。
			2. 地上デジタル放送の難視聴地域解消策の進捗状況について	令和7年3月に一般質問したテレビ電波受信困難地域について、答弁内容は解消方法の一つとしてインターネット回線を利用した視聴が考えられ、その視聴サービスは、本市において事業者による提供が行われていない状況であり、各区から利用要望があれば、関係する事業者への要望を行うなどしてまいりたいと考えるというものであった。各区からの要望やデジタル技術の活用を目標としている本市の方向性から関係機関に対し、視聴エリアを拡大するよう要望すべきと考えるが、その進捗状況について伺う。
		3. 高校生等通学定期購入費補助事業の検討について	令和7年度当初予算に5,437千円計上されている本事業について、その支給要件、各高等学校通学者の利用状況及び利用金額について伺うと共に、転出抑制、子育て支援の観点から高校生の通学実態に応じた支給内容の検討について伺う。	
5	30分	岩瀬 琢弥	1. 情報リテラシーに関する取り組みについて	膨大な情報に触れられるようになった現代では、非常に有益な情報に誰でも触れられるようになった一方で、詐欺やデマなど悪質な情報が氾濫している。そのため、情報を鵜呑みにするのではなく真偽を確かめる癖をつけることが重要になっている。また、得られた情報の理解度によって便利なサービスを活用できる人とそうでない人の格差が広がっていることも見受けられることから勝浦市における情報リテラシーに関する取り組みについて伺う。